

## 山形中央協組 山形圧送協会



左から佐藤会長、横戸市長、成田理事長

山形中央生コンクリート協同組合（山形市、成田理事長）と山形県コンクリート圧送協会（山形市、佐藤隆彦会長）は3月30日、

上山市（横戸長兵衛市長）と災害時における

消防活動応援に関する

協定を締結した。

佐藤会長は3月30日、

上山市役所で調印式を開いた。

2016年に新潟県糸魚川市で発生した大規模火災でコンクリートミキサ車が消火用水を大量に運搬して貢献したことを受け、全国

がそれに応じると約束

した。

横戸市長は「自然災害は起らぬ方がいい

のだが、（予期せぬ）どこでも発生する。これ

までも当市は行政間の

協定を締結した。

成田理事長は今回の協定が地域の安全安心

に寄与するとして、「万が一の場合にも圧送業界

と協力して、ミキサ車、ポンプ車の特性を活かしながら貢献していく」とし、佐藤会長は「庄内協組と圧送協会は庄内協組と圧送協会、地元行政の3者による総合防災訓練に参加するよう呼びかけて、

行ってきた防災訓練でも手ごたえを感じている」と述べた。

山形中央協組は11社

10工場で構成され、工場に常駐しているミキ

サ車は97台。山形圧送協会は13社で構成され、ポンプ車55台を保有する。

# 上山市と3者協定締結

## 車両特性活かし消防応援

消防活動応援に関する協定を締結した。同日、上山市役所で調印式を開いた。

2016年に新潟県糸魚川市で発生した大規模火災でコンクリートミキサ車が消火用水を大量に運搬して貢献したことを受け、全国で協定の締結が進んでいる。山形中央協組と山形圧送協会では、ミキサ車で水を運搬、コンクリートポンプ車で給水や放水を行う連携を行なうことを想定し、17年に山形市、18年に天童市と同様の協定を締結している。今回が3例目となる。

調印式のあいさつで

横戸市長は「自然災害は起らぬ方がいいのだが、（予期せぬ）どこでも発生する。これまでも当市は行政間の広域応援協定を締結してきたが、今回の協定では、地元の民間の方からの力も得て、少しでも市民から安心、安

全だと言われる環境を作つていい」と述べた。同市が行っている総合防災訓練に参加するよう呼びかけて、成田理事長、佐藤会長

がそれに応じると約束した。

成田理事長は今回の協定が地域の安全安心に寄与するとして、「万が一の場合にも圧送業界と協力して、ミキサ車、ポンプ車の特性を活かしながら貢献していく」とし、佐藤会長は「庄内協組と圧送協会は庄内協組と圧送協会、地元行政の3者による総合防災訓練に参加するよう呼びかけて、

行ってきた防災訓練でも手ごたえを感じている」と述べた。

山形中央協組は11社10工場で構成され、工場に常駐しているミキサ車は97台。山形圧送協会は13社で構成され、ポンプ車55台を保有する。

山形中央協組は11社10工場で構成され、工場に常駐しているミキサ車は97台。山形圧送協会は13社で構成され、ポンプ車55台を保有する。